

A photograph of a classroom during a lesson. Students in school uniforms are seated in rows, facing a large screen displaying a colorful diagram. Two teachers are standing near the screen, and a projector is visible on the ceiling.

もありました。閉会時には福田大学教育機構長より「本当に『おもしろい』ものというのは、カラオケのような受け身のものではなく、自ら興味をもって追及していくなかで感じるのではないだろうか、おもしろプロジェクトがそのきっかけの一つになってもらえればと思っています」という講評をいただきました。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 5月



第23回おもしろプロジェクト'18の募集終了



「山口大学おもしろプロジェクト」は、自由な発想に基づく正課外活動実施のための資金支援制度です。1996年より開始されており、20年以上の長い歴史があります。そして現在では山口大学の特色ある教育プログラムの一つとなっています。これまでに200件以上のプロジェクトが採択され、約2500人もの学生たちがおもしろプロジェクトの根幹である「発見し・はぐくみ・形にする『知の広場』」を体験してきました。

4月27日をもって「第23回おもしろプロジェクト'18」のプロジェクトの募集が終了しました。募集区分「通常」（最高支援額50万円）には5件、「Light」（最高支援額10万円）には8件、「テーマ型」（最高支援額10万円）には1件の、計14件の申請がありました。現在、選考委員によるプロジェクトの審査が進められています。採択プロジェクトに関しては、後日この紙面やホームページなどで紹介させていただきます。採択されたプロジェクトは6月より活動を開始することになります。これらのプロジェクトは学内でも様々なイベントを行なうこととなります。今年度おもしろプロジェクトに申請をしていない学生の皆様にも、そうしたイベントに参加することで、「おもプロ」に携わっていただければと思います。

多数の申請、ありがとうございました

第22回おもしろプロジェクト'17学長賞に関して



吉田・自主活動ルーム前



常盤・学生食堂前



小串・学生食堂前

第22回おもしろプロジェクト17では、14つのプロジェクトが活動を行いました。学長や副学長をはじめとする教職員や学生より、これら14のプロジェクトの中で「これはおもしろい！」という投票を受付けました。投票期間は4月の最終報告会とその前後1週間で、自主活動ルーム前、吉田の「ボーノ」学生食堂、常盤および小串の学生食堂前でおこないました。学長賞に選出されたプロジェクトは、学長より直々に表彰を受けることになります。学長賞プロジェクトやその表彰式の様子は、後日ホームページ等で紹介させていただきます。

<おもプロ17プロジェクト一覧>

CodeOrange/ICT救急改革/スベ研/家庭医療ばんきょう会/電脳飛行/

まきちゃんと竹であそぼう/いろとわ/召しませ、忍者飯!/絆/エン会プロジェクト/カンボジアの子どもたちを支えよう!/

いろいと/TRICK ART!/Let's connect with Japan!!

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 6月



2018年度おもしろプロジェクトの決定

【通常】医療系学生による地域住民への健康講座プロジェクト ～家庭医療べんぎょう会～

本プロジェクトでは県内の地域住民に健康講座を行うことで住民の一次予防意識を高めることを目的とする。地域住民に対し、依頼があればその地域に出向き認知症や高血圧といった疾患に関する講座や健康に関するレクリエーション、地域住民が抱えている健康に対する不安をヒアリングし回答する健康相談等を学生が行う。また、一次予防教育に何が必要か、実際に健康講座を行っている団体の活動見学を通じて知る。更にリーダーシップの執れる医療系学生を養成するための勉強会を開催する。

【通常】①高校生に対する心肺蘇生法の普及②構成員のインストラクション技術向上 ～Code Orange～

私達Code Orangeは、山口県内における心肺蘇生法の普及を目的とするサークルで、学生・一般市民の方たちに心肺蘇生法講習会を開いている。今年で私たちの活動は10年目を迎える。今年度は、更なるメンバー教育の充実や、これまで以上に地域に根差した活動を行うことに重点を置く。今年度は新たに県内の高等学校に赴き、BLS（Basic Life support: 一次救命処置）講習会を開催することを予定している。構成員のインストラクションの技術向上やより質の高いBLS講習会の開催を通じて、山口県内における心肺蘇生法の普及並びに救命率の向上を目指す。

【通常】ニュータイプ無人航空機設計計画 ～電脳飛行～

回転翼機であるマルチコプターと固定翼機両方のメリットを有するハイブリットUAV（Unmanned Aerial Vehicle）の設計・開発を目指す。このプロジェクトを通して工学への理解を深めるだけでなく、通常の授業では経験できないものづくりの難しさや楽しさを学ぶ。オープンキャンパス等のイベントにも参加し、地域の方々や高校生に山口大学の活動の一つとして「電脳飛行」と「おもしろプロジェクト」について知ってもらい、ものづくりの面白さ、楽しさを伝える。

【通常】「薩長同盟酒」用酒米の栽培体験と薩長学生交流 ～'18 長州藩～

「薩長同盟酒」プロジェクトでは、酒造好適米「山田錦」や焼酎醸造用サツマイモの栽培方法および日本酒と焼酎の酒造工程を学ぶこと、鹿児島大学の学生と作物栽培を通じて交流することの2つを目的とする。このプロジェクトは、山口市と鹿児島市が進める明治150年記念プロジェクトの一環として昨年度から行われている。本プロジェクト代表者の山本は昨年度このプロジェクトに参加し、鹿児島大学を訪れ酒米栽培や現地交流を体験したが、予算の都合上山口大学側の参加者をこれ以上増やすことが難しい。そこで、「薩長同盟酒」プロジェクトにおもしろプロジェクトとして参加し、山口大学側の参加者を増やし、酒米の栽培管理を通して農業を考え、経験する人の輪を広げようと考えた。

【light】山犬にゃんこ大作戦 ～略してYND～

校内に生息する飼い主のいないねこの個体数および生態等を調査し、「大学ねこ」として把握し、長期的にその個体数を適切に管理していくこと（今年度は生態調査を主とする）。同時に獣医学部学生の実践的な学びの機会を作ることを目的とする。これを実現するため、地域猫を担当されている山口県職員（本学獣医学部卒業生）に講師を依頼し、地域猫について学んだ後、定期的な調査と勉強会を並行して実施する。必要に応じて自治体および他大学との連携も模索する。また、長期休暇期間には地域猫活動を実践する自治体への見学等を検討する。可能であれば、ねこの捕獲も実施したい。

【light】Show Our Campus ! !

オープンキャンパスでのボランティア活動を通じて、山口大学に初めて来た多くの人は目的地の場所が分からず、また誰に聞けばいいかも分からないという不安な状況に陥っているのが見て取れた。よって、このプロジェクトは、山口市と鹿児島市が進める明治150年記念プロジェクトの一環として昨年度から行われている。本プロジェクト代表者の山本は昨年度このプロジェクトに参加し、鹿児島大学を訪れ酒米栽培や現地交流を体験したが、予算の都合上山口大学側の参加者をこれ以上増やすことが難しい。そこで、「薩長同盟酒」プロジェクトにおもしろプロジェクトとして参加し、山口大学側の参加者を増やし、酒米の栽培管理を通して農業を考え、経験する人の輪を広げようと考えた。

【light】来たれ！農場めぐりあい

『来たれ！農場めぐりあい』は、今日の情報化社会の中で、農業を通じてのコミュニケーション「農コミュニケーション」をとることで、学生や教職員など学内だけでなく、地域も含めた多くの方に自然や人との関わりを感じてもらいたいことを目的とする企画である。3年という期間でこの交流の輪を広げられるように1年目ではその基礎を固める。この目的のため、大きく分けて次の2つの活動を行う。1つ目は、野菜づくりである。山口大学の付属農場をお借りして、「土づくり」「野菜育成」「調理方法研究」「片付け」を行う。2つ目は、オープンキャンパスと農場祭で野菜販売や調理販売を行い農業の素晴らしさを知ってもらい、来年度学外でも農業体験等を行えるよう知識や技術、情報、人脈を得るため行う。

【light】もりプロ ～山犬生に学内外のイベント情報を～

私たちは山犬生に向けた学内外のイベント情報を掲載した全く新しいラインアカウントを作成し、山犬生に学内国際交流イベント情報と地域のイベント情報を効率よく提供することを目的としている。実施計画としては、作成したラインアカウントの登録ユーザーを増やすためにラインアカウントの広報をすること、イベント情報の詳細を載せたWEBサイトの構築の2つを主に行っていく。

【light】木製グライダー製作

飛行機の歴史の中で、進化してきた飛行機を、グライダーを製作し改造していくことで深く探求し、空を飛ぶものの基本的な知識を身につける。いかに長い時間、効率よく飛ばせるかを考え、飛行時間を記録し、更新させる。ものづくりの難しさや楽しさを体感するとともに11月に山口大学で実施される姫山祭でブースを設け、その感動を子供たちに伝える力を身につける。まずは情報収集から行い、木製グライダーを完成させる。飛行実験の中でいかに効率よく長い時間飛べるかを考え、機体を調整する。徐々に目標とする自動制御可能な木製グライダーを製作し、課題点や改善点を探したしよりよいグライダーを製作する。製作するにあたって山口大学の大学研究室に訪問しアドバイザーをもらい、技術を吸収し今後の活動に活かす。

【light】Share KASA

山口大学内での傘の盗難の抑止、突然の雨で困っている学生の生活の向上を目的とする。また全国的にもあまり成功している例がないシェア傘の調査・実施を行うことで山口大学のみならず幅広い人々の役に立つシェア傘のモデルケースがどのような形であるかを模索し、追究する。実施計画は山大ロゴの入った目立つ傘を作成し、学内に数か所自由に借りられて、返せる傘立てスポットに設置する。利用率、実施率を調査して、改善し、また調査をすることを繰り返す。

【light】YUシェアハウス経由 山大スクールパス

以前留学生にアンケートを取った際、寮が遠いことが留学生にとって不便であり不満を持つ生徒が多いことと、先生にとっても雨の日雪の日の授業の参加率が悪くなってしまうとの課題が生じていることが分かった。今回初めての着目点としてYUシェアハウスと山口大学にスクールパスを通することはできないか、という案の調査から取り組んでみる。目標は低コストで運営できそうな方法を考えること、としている。アンケートやインタビューを実施し何が不満の原因となっているのかを明らかにしていきたい。

【light】山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

創設200年を迎えた山口大学。その歴史を刻むメモリアル時計を作ります。時計はデジタル表示のもので表示部にはかつて世界中で使われた表示管「ニキシー管」を自分たちで復元・製作して使います。古い技術を現代に若い世代の手でよみがえらせることで、山口大学の歴史を大切にしながら未来へと繋いでいくというメッセージを込めています。本プロジェクトは、2年間で達成することを予定しています。1年目はニキシー管の内部機構の再現とガス種別の放電特性の調査をし、2年目はガラスに封入したニキシー管を作り、製作した回路とともに時計に実装します。

【テーマ型／地域防災力】体験で学ぶ防災・減災

山口県には災害が起こる可能性が高い警戒すべき活断層があるが、山口県民にはいつ地震が起きてもおかしくないということがあまり認知されていない。そこで、山口市では体験しづらい地震車を呼び、七夕祭の来場者に地震の凄まじさを直接体感してもらい、防災・減災について学び、考えてもらうとともに、アンケートを取るなどして山口県民の防災意識を調査する。体験の様子や調査結果、自分たちが防災について学んだことをまとめ、来場者に日頃から災害への準備の重要性を発信する。

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 1月



6月分の活動報告

～'18 長州藩～

6/30に鹿児島県で酒米の田植えを行ないました。朝早くに出発し、お昼頃圃場に到着。田んぼ一面に全員で植えきって帰ってきました。天気が心配でしたが、途中少しの通り雨で済みました。鹿児島大学の学生と協力したり、休憩時には普段の生活の違いなどを主題に会話を楽しみました。鹿児島大学、山口大学、両方の学生を合わせると20人ほどいましたが、それでも時間がかかりました。休憩も含んで5時間程度。田植えに取組みながら、「昔の人たちが毎年この作業に取り組んで、自分たちの食料を自分たちで生産していたのは凄いことなんだなあ」と思いました。現代でも山口から鹿児島へ行くのには時間がかかります。それを今回改めて実感したうえで、「薩長同盟を結んだ」という事実はどれだけ大きな出来事であるのか、歴史としての一面を超えて、物理的にもやはり大変なことであり、凄い出来事であることが実感できました。現代の交通を使って遠方同士で交流し、同じ目標を持てている今、とても有意義な時間を過ごさせてもらっているように感じました。



薩長学生交流

Show Our Campus！！



地図作成会議中

6月はプロジェクトを進めるための地盤固めをしていました。主に必要書類の作成や提出を行いました。また、ミーティングでは、現在学校から配布されている地図の問題点を明確化し、どのような地図を作るのかについて大まかな方向性を決めました。6月19日には、大学見学に来られたフランスからの留学生の方を学内案内しました。初め、人文学部について詳しく知りたいとのことでしたが、落ち着いた話を聞くと「英語の講義が多いところがいい」など、彼女の知りたいことが徐々に明確化していきました。そこで、人文学部以外にもこのような学部があると紹介すると国際総合科学部に興味を持たれ、詳しく知りたいと仰るので国際総合科学部の学務へご案内しました。本当に志望したい学部が決まり、知りたかった情報を得ることができて満足した様子で帰宅されました。一番親身になって話を聞いてくれてありがとう感謝され、とても嬉しかったです。今回、学生ならではの学内案内を実施することができたように思います。対話を通じた丁寧な学内案内の重要性を再確認しました。

山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

今月は天気管、尿素、明礬、ビスマスの結晶を作る実験を行い、化学実験の知見を深める試みを主に行いました。薬品の計量、温度や材料といった実験環境に対する姿勢など、課題が多く見えました。又、ニキシーのPRも兼ね先述の実験の中でも特に完成度の高い天気管を七夕祭で出店する事にしました。適当な材料の調達、宇部組と本部組の連絡の密度、費用の膨張などの、ニキシー計画の本格的な進行の上で課題となる点が幾つも見つかかり、改善できた事は非常に大きな意義がありました。それからニキシー管のシンボルマークを作りました。これから使用していきたいと思っています。そしてメインのニキシー管の方も、製造に必要な機構の設計や進行計画を少し進めました。



シンボルマーク

第22回おもしろプロジェクト'17学長賞決定



6月15日（金）、「第22回おもしろプロジェクト'17」学長賞の表彰式が学長室において開催され、岡学長から受賞4プロジェクトの代表者へ表彰状と記念品が授与されました。今回の受賞プロジェクトは、「ICT救急改革」、「電脳飛行」、「いろいろ」、「召しませ、忍者飯！」でした。いずれも非常にユニークなプロジェクトで、地域医療改善、ものづくり、学生交流と、テーマもバラエティにとんでいます。表彰式にて学長より、受賞者の学生に対して「プロジェクトの遂行にはいろんな人の支援があったはずで、これからも感謝の気持ちを忘れずにいて下さい」とのお言葉を頂きました。また「人が本当に好きなことというのは、『創造』というものかもしれませんね」という話もあり、受賞者は大きくうなづいていました。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 8月



7月分の活動報告

～医療べんきょう会～

今月の健康教室は、昨今猛暑の話題が事欠かないことを踏まえて、「熱中症」をテーマにし、40分程度の講話と20分程度のワーク、残り30分で健康相談会を行いました。熱中症の講話では「熱中症の種類」「熱中症を予防するには」「熱中症になった際はどうか」をテーマに話を行いました。特に「スポーツ飲料と経口補水液の違い」に関する話は、初めて知る方が多かったようで、かなり大きな反応を得ました。ワークでは砂糖、塩、水で簡単に作れる経口補水液を参加者全員に作成、体験していただきました。コップ1杯に対し、砂糖を9gも使用することに抵抗を覚える人も多く、飲まない方もいらっしゃいました(糖尿病など基礎疾患をお持ちの方には飲用を控えていただきました)が、市販している経口補水液と大体同じ組成になっているので、いかにそれらの飲み物に砂糖が入っているか、従ってそればかり飲んでいると糖尿病などのリスクが上がるか、ということを実感する機会にもなったとの声を頂きました。平原は12人、藤河内は10人の高齢者が参加しました。



熱中症に関する健康講座を開催

～Code Orange～



スライドづくりに関する勉強会

今月は、構成員のインストラクション技術の向上に重点をおいて活動を行いました。まず、定例会では、「スライドづくりのコツ」と題し、6年生からスライドのデザインのコツを教わりました。同じ内容でもデザインによって頭の中に入ってくる情報量が大きく変わること、そしてそれは受講者の理解度にも直結することを学ぶことができました。次回は、「プレゼン発表の仕方のコツ」と題し、定例会を行う予定です。また、8月19日に呉共済病院にて「BLS選手権 中国四国ブロック大会」が行われるにあたり、7月下旬に低学年向けにBLS練習会を行いました。この大会はBLSの手技の正確さを大学対抗で競い合うものです。胸骨圧迫だけでなく、フェイスシールド、ポケットマスク、BVMによる換気の練習を行いました。最初は慣れない手技に戸惑っているようでしたが、練習を重ねるにつれ、高学年のメンバーと同程度に上達することが出来ました。新たな手技を習得することで、救急に関する興味がより深まったのではないかと思います。

来たれ！農場めぐりあい

7月の農作業は、畑の苗に台風対策をする作業から始まりました。台風が直撃する前日、雨風のなかメンバーで苗に支柱を立て、地面に溜まった水を出すための溝を作ったりしました。野菜のために何をするのが最善なのか自分たちで試行錯誤する過程は大変でしたが、その分台風後に生き残った苗たちを見たときの喜びは大きかったです。温室では野菜たちが収穫の時期を迎えました。大量に収穫できたため、おもぷろメンバーだけでなく、例えばメンバーが所属しているサークルの先輩など、たくさんの方に配布することができました。野菜ができるまでの土づくり、種まき、水やりなどの作業はとても大変でしたが、たくさんの方に喜んでもらえ、暑い中育てた甲斐がありました。また温室で収穫したバジルとパセリの乾燥作業も行いました。作業があったのはテスト前の忙しい時期でしたが、たくさん人が集まってくれて大勢で楽しく作業をすることができました。7月は野菜の収穫、配布、加工など農業の色々な楽しい要素を味わうことができたよい月になりました。



野菜育ててます

山大にゃんこ大作戦～略してYND～

始動し始めてから2ヶ月ほど経ち、学内のねこの調査も少しづつ進んでいます。現在、台帳に登録できたねこは30匹ほどです。おそらく全体では50匹ほどは生息しているのではないかと推測するところまで達しました。今月からは会員全員での学内調査も取り入れ、7月17日に30人ほどで朝6時から学内を周り、ねこの調査を行いました。台帳登録に続き8月はマタタビなどを使って、ねこの親密度を上げていきたいと考えています。その他には協力していただける方に広報に伺いました。防府のカフェ「ウイラニ」へ活動内容および今後の展望についてお話し、なにかあれば協力したいとおっしゃっていただき、さらにこの活動に賛同していただこうな方を紹介していただくこととなりました。役員ミーティングでは8月の九州大学ネコ部との合同合宿や姫山祭に向けての詳細を話し合いました。合宿では獣医学部上林先生に講義していただくことになりました。

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 9月



8月分の活動報告

Show Our Campus！！

8月4日、予定通り学内案内を実施しました。プロジェクトとして初めての大きな活動で足りないところもありましたが、総勢45人の方に学内案内を提供することができ、たくさんの「ありがとう」の感謝の声を頂きました。他にも、「大学生生活って楽しいんだなって思えました」「安心した」等の安堵の声を聞くことも出来ました。これらの結果を受けて、今回、『来学者の精神的な負担と時間の浪費を取り除き、学内における不安解消に尽力する』という当初の目的の一つを無事達成することができたのではないかと思います。しかし、案内を優先するあまり地図を有効に活用できていなかったことや、未だ仮地図では現在地がわかりにくいなど反省すべき点も多かったです。次の目標であるホームカミングデーに向けて、これらの問題が改善できるよう努力していきたいです。



オープンキャンパスで
学内案内を実施

木製グライダー製作



キットのグライダー
を作ってみる

今月の活動では、各自で飛行機について調べることを課題に進めました。そのためにキットを購入し作って見ました。キット②の小型室内飛行機のバルサ翼タイプを作りました。全長142mm翼長146mm重量約1gで全てバルサ材で構成されているプロペラ付きの製品でした。プロペラはゴム動力で回転させるようになっていました。非常にバルサ材が薄く、型からの切り離しや、製作に神経を使いました。室内で飛ばしてみましたが、うまく飛ばず着地したときにプロペラの羽の部分が折れました。瞬間接着剤で修理しましたが、強度不足のようだったので飛ばすのを中止しました。またほかの機体は室外で飛ばすと風が強かったので飛ばす機会がありませんでした。10月に本格的に板から機体作成し飛行実験ができるように9月中に発注しようと思います。

～電脳飛行～

電脳飛行の8月期の活動としては活動をあまり行いませんでした。その理由として、自分長岡が用事の為実家に戻る必要があったことや構成メンバーの帰省、学会発表の準備等、何名かのメンバーが留学の為に長期間いなくなる、といったことが重なったため8月10日から20日までは盆休み等を含めた夏季休暇として定めたからです。8月に行った活動の内容としては8月7日に機体製作に必要な物品の注文を行いました。注文内容は昨年度の注文と同じ物としました。また、7月の報告書に示したように現在市販されている商品で参考となりそうなドローンを選び購入しました。8月9日には休暇後の予定について話し合いました。8月22日には新型機体について、現在試作してある機体の改造を行っていくことを決定しました。具体的にはエルロンを無くし、右翼、左翼翼下に設置したプロペラの推力差を用いて機体のロール制御を行い、機体重心付近に設置した横力板と呼ぶ追加の操舵翼によって低バンク旋回を可能とする機体となります。



機体の製作部材が
届きました

YUシェアハウス経由 山大スクールバス

今月は自分たちの方針の見直しと今後の展望について話し合いました。具体的にはこれまで調査してきたYUシェアハウスから山口大学間を走る既存のバスのルートやその利用方法、既にスクールバスを実装している大学などの先行事例研究、また留学生センターが今冬に試験的に走らせるスクールバスの本数の充実などを検討しました。その結果、主に金銭的な問題でスクールバスを通すことが難しいと考えられるため、それ以外の方法で留学生の登下校や交通の便を良くすることができないか留学生センターと話し合いながら考えました。今のところ廃止された留学生へのバスの乗り方の講習など、できそうな範囲の支援を9月末に行われる留学生オリエンテーションなどで実施していく予定です。またバスの乗り方の講習と市内観光を同時に行うという案も出ておりこちらは現在検討段階です。実施が決まった場合は10月中旬ごろを検討しています。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 10月



9月分の活動報告

～'18 長州藩～

9月25日の16時から農学部付属農場の実習棟にて日本酒の飲み比べイベントを開催しました。イベントの内容として構成員による酒米の栽培方法、日本酒の醸造工程と世界のお酒について、ラベルから見る日本酒について調べたことを発表しました。参加者の感想には、今まで日本酒の製造方法や他のお酒について学ぶ機会がなかったが、今回の勉強会で学ぶことができたという感想をもらいました。構成員も日本酒の原料となる酒米の高品質の栽培方法や高度な醸造法などについて専門的なことについても知識を共有することができました。飲み比べでは辛さの度数の十や一についての香りや味の違いについて着目し、銘柄をあてることをしました。また、自分が甘口か辛口のお酒が好きかについても考えてもらい、自分の好みのお酒についても考えてもらいました。自分たちも、甘口であるか辛口であるかの判断が難しいことが分かり、機会があればより多くの日本酒を試飲してみたいと感じました。ホームカミングデーでも今回の発表を生かすようにしたいです。



日本酒の飲み比べイベント

もりプロ～山大生に学内外のイベント情報を～



イベント開場にて
背中にポスターを
貼って広報

今月は七夕祭があり、その時もりフォメ（MORI-info）LINE@独占のクーポンを配信しました。もりフォメ（MORI-info）しかないお得なクーポンということで多くのお客さんが利用してくださいました。しかし、今回は七夕祭自体が別日での開催ということもあり例年に比べてお客さんの数が少なかったです。そのため、当日の新規の登録者は20人前後と予想を下回るの数字になりました。もりフォメ（MORI-info）を山大生に幅広く知ってもらいたい機会となる予定でしたが残念でした。今後は事前にもっと戦略を立てていきたいです。それから、今月はもりフォメ（MORI-info）の広報活動を多く行いました。学内イベントでの広報から地域イベントでの広報まで幅広くいこないました。そのかいもあってか今月は80人新たに登録していただきました。今後も地道ながらLINE@の登録者を増やしていけるよう外回りを続けていく予定です。

山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

今月のメインイベントはニキシー管の実験！…となるはずだったのですが、実験を手伝ってくださる先生が急用で参加できなくなり、延期となってしまい、実施できませんでした。代わりに全体会議を開いて、現在の進行状況や今後の計画を確認しました。現在までにニキシー管内部の真空度を測定するクリスタルゲージが完成、ニキシー管の「殻」になるガラス管を切ったり曲げたりするために必要な「ガラス旋盤」が設計が完了し、これから制作に取り掛かる予定です。そしてガラスは急激に冷やすと割れてしまうので、加工して高温になったガラスを徐々に冷やしながら保管する「徐冷炉」をどこか（きららガラス未来館を予定）からお借りできないか相談しなければならない、といった話をしました。また実験ができないと進めにくい事が多いという事実もあり、実験を早めに行う方針で進める事を確認しました。今月は中間報告書、ホームカミングデーがあるので気を引き締めて頑張っていきたいと思います。



ガラス旋盤の設計
図

体験で学ぶ防災・減災

9月には現在も火山活動が活発な熊本と長崎に1泊2日で赴いた。これは、火山災害に焦点を置いて防災・減災について学習するための研修合宿であった。熊本では、阿蘇火山博物館と中岳の火口の見学を行った。博物館では、火山活動開始時から現在に至るまでの過程や噴火の様子を動くジオラマや映像で見ることができた。火口の近くでは、安全レベルの表示や噴火の際に噴石などから身を守るための退避壕を設けるといった防災対策がされていた。長崎では、がまだすドームと大火砕流体験館・土石流家屋保存公園を訪れ、火砕流・土石流について学習した。火山噴火という噴煙が上がり噴石が降ってくるイメージが強かったが、雲仙普賢岳の噴火は火砕流・土石流による被害が大きい。噴火直後だけでなくその後も天候など些細な変化に警戒する必要があるのだと感じた。この2日間で、初めて知ったこともあり、火山災害の認識が変わる部分も多々あった。この学習を個人だけの学びにとどめず、プロジェクトメンバー内、さらに機会があれば外部にも広めていきたいと考える。



これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 11月



10月分の活動報告

来たれ！農場めぐりあい

10月11日、木曜日に種まきをしました。冬野菜である、ほうれん草と小松菜とカブです。今回は留学生、経済学部、人文学部、農学部、幼稚園児が参加してくれました。みな真剣に説明を聞いてくださり、一つひとつ丁寧に蒔いていました。その後、自分たちが蒔いた種がどのように成長するのか説明しました。無事に大きく育つよう、丹精込めて育てていきます。できた野菜を使って皆で鍋パーティーをするのが楽しみです。（メンバーA）10月は冬野菜の種まきを行いました。7月に夏野菜の定植を行ったときの参加者は農学部生しかいなかったのですが今回の種まきは農学部に加え人文学部、経済学部からも参加者がいて、皆でわいわいと楽しく種まきをすることができました。夏野菜を育てたときは初めての野菜作りということもあり、支柱の立て方を色々試すなどの試行錯誤や、雑草を放置して大繁殖させてしまうなどの失敗をたくさんしました。そのときの経験を生かして冬野菜の栽培をしていきたいと思います。（メンバーB）



カブやほうれん草
の種まき

～电脑飛行～



製作中の
2号機の機体

10月8日は先月の飛行練習で破損した部分の改修を行いました。飛行練習を行った結果、何度も墜落するうちに再度各部が破損してしまい、飛行不可能な状態となってしまいました。改修を試みましたが思いのほか破損が大きく、安定した飛行が見込めなかったため、強度に余裕を持たせた2号機を製作することに決定しました。10月15日は作業部屋の整理とアンケート記入を行いました。10月22日に2号機の製作に取り掛かりました。10月27日は吉田キャンパスで開催されたホームカミングデーの交流会に参加しました。展示されていたポスターを拝見させていただいたところ、木製グライダーを製作しているプロジェクトでは、木材の加工をやりやすくするために温水に浸す作業を施されておりました。ハイブリッドUAVの主翼に用いているリブはバルサ材を加工したものであるため、この加工方法は一度取り組んでみたいと思いました。10月29日は、機体製作で不足している部品の発注を行いました。来月は2号機を完成させたいと思います。

～Code Orange～

27日に本学で開催されたホームカミングデーにCodeOrangeも参加しました。3名がインストラクターとして参加し、共通教育棟16番教室で運営をしました。ご家族で参加される方が多く、幼稚園児が懸命に胸骨圧迫をしている様子が可愛らしかったです。今年は、BLS講習会だけでなく、ホワイトボードにCodeOrangeの年間の活動を紹介するポスターを展示して頂けることになりました。CodeOrangeの活動内容を山口大学の卒業生の皆様に知っていただく良い機会になったのではないかと思います。定例会では小児・乳児BLSや窒息解除、RICEなど多くのことを学びました。今年は低学年も講習者に教えることが出来るように練習に励んで参ります。10月17日より昼休みや放課後の時間を使って練習会が始まりましたが、練習を重ねるにつれ、メンバーの知識や技術が向上していることが感じられます。より良い講習会運営となるよう、気を引き締めて臨みたいと思います。



ホームカミングデー
にてBLS講習会

～家庭医療べんきょう会～



認知症カフェへの
参加

今月は9月から家庭医療べんきょう会が活動に参加させていただくことになった認知症カフェの活動について報告します。今月は美祢市で認知症予防啓発の紙芝居活動をしている方をお招きした講話がありました。認知症講座は私も小野地区で行ったことがあるのですが、専門家の観点から最新の知見や、高齢者にも分かりやすく自分で実践できるような予防法を話していらっやったので、とても勉強になりました。また、手書きのイラストをふんだんに使い、クイズを取り入れることで堅苦しくなく親しみやすい発表をなさっていたことが印象に残りました。参加者に話を聞くと「認知症カフェの活動には継続して参加しているが、今まで教えてもらった話を思い出すこともできたし、今回の講演会で認知症になっても生活次第で症状を予防できるということが分かった。自分でも笑いの絶えない生活や、様々な地域活動に参加することを心がけることで元気な生活を続けたい。」とおっしゃっていました。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 12月



11月分の活動報告

Share KASA

今月は傘設置にむけた準備を進めました。これまでに了承をもらった箇所への最終確認と備品の準備、それから傘使用の説明書きのポスターを制作しました。ラミネート加工はプロジェクト支援教員の崎山先生にお願いしました。また、傘も山口大学に届いたみたいです。今月は利用に際するすべての準備をほとんど終わらせました。そして、今月やっと新たな新メンバーが加わりました。おかげで準備やポスター作りも負担なく進めることができました。やはり誰かと一緒にプロジェクトを進めると作業の負担が減るだけでなく今まで自分になかった新たな発想をもらえるのでチームワークというのは非常に重要であると再確認しました。来月はいよいよShare KASAが始動します。いろいろ問題点がたくさん出てくるとは思いますがみんなが利用しやすいShare KASAになるように活動していければと思います。また、新メンバーとも協力していきながらよりよいShare KASAを目指して頑張りたいと思います。



シェア傘の完成

山大にゃんこ大作戦～略してYND～



姫山祭にて
活動紹介

姫山祭にてパンケーキ販売ブースの横で展示や紹介を行いました。店先に当会の活動をまとめたポスターなどを設置しました。パンケーキを待つ間にポスターやねこ台帳を見ていただき、時には声かけをして活動の紹介を行いました。学生を始め、学外の多くの方々の反響をいただき、本活動および学内のねこに興味がある方が多くいらっしやると感じることができました。11月下旬には山口市の地域猫を担当する環境衛生課に訪問し、地域猫の避妊手術における助成に関した相談をさせていただきました。団体登録に関すること、助成金に関するることなど様々なことに答えていただき、今後の活動方針を会員内で統一していく必要があると認識しました。

Show Our Campus！！

今月は、ホームカミングデーなどで頂いたご意見を参考に学内地図の修正・補正を行いました。また、学校の印刷は白黒が多いということだったので、白黒でも地図が機能するかの確認をしました。さらに、並行して表紙の作成もすすめ、パンフレットという紙媒体に印刷できる状態まで完成させることができました。また、印刷したパンフレットを広報室に置かせてほしいということと、広報の学内案内に利用してもらえないかということについての交渉を行いました。完成したパンフレットは、完成品が届き次第、図書館や保健管理センターなどにも置かせてもらえるよう交渉する予定です。



作成地図の
パンフレット
完成

～'18 長州藩～



鹿児島にて
サツマイモ収穫
交流

11月25日に焼酎醸造用サツマイモの収穫作業を鹿児島大学と共同で行いました。山口大学からは2名の学生、鹿児島大学からは10名程度の学生とで行いました。山口大学の学生は今までサツマイモの収穫作業を行ったことが無く今回の収穫作業が初めての体験となりました。鹿児島大学の学生に指導を受けながら用務を実施しました。焼酎醸造用のサツマイモは黄金千貫という品種で白色をした食用よりも大きいサツマイモを収穫しました。11月26日は日本酒と焼酎に関する情報交換会を行いました。山口大学からは酒米の栽培を中心に発表や意見交換を行いました。鹿児島大学からは、焼酎用の栽培方法を中心に省力化された栽培の発表が行われ、質問等で情報共有を行いました。薩長同盟酒用の栽培についても意見交換が行われ、今年の倒伏の程度が大きかった要因についても話し合いました。今年は、鹿児島県に毎週のように台風が直撃した自然要因も要因であり、鹿児島県での酒米の栽培が難しいという結論に至りました。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 1月



12月分の活動報告

～Code Orange～

この度新たな試みとして12月6日に宇部高等学校にて、BLS講習会を行いました。対象は1年生280人、保健体育の時間を頂いて行いました。高校生であったこともあり、BLSについて習うのが初めてだという生徒が多かったようでした。高校へ直接赴き、出前授業という形で講習会を行うのは初めてだったので、不安も大きかったですが、熱心に耳を傾けてくれ、積極的に講習会を受けてくれました。また、自分から質問もしてくれ、私たちもとても楽しく講習会を行うことが出来ました。これを機に、BLSについて興味をもってもらい、実際に人が倒れている場に居合わせた時に、何か一つでも今回の講習会の内容を思い出してもらえると嬉しいと思っております。また、定例会では11月上旬に行われた医学祭BLS講習会の反省会を行いました。今年の反省をもとに来年の医学祭では受講者のニーズに合ったさらに充実した講習会が提供できればと思っております。



宇部高等学校にて
BLS講習会

～電腦飛行～



新型機の修理と
飛行試験

12月13日は、先月の飛行試験で壊れてしまった新型機を修理しました。前回の飛行試験では、最大推力にしても飛行することが困難であり、不安定な低空飛行により、胴体と翼が破断してしまいました。そこで、機体の修理を行い設計を見直していきました。また、物品注文リストを作成していきました。現在、所持している物品を整理し、新型機に必要な物品および、これから研究していく上で必要な物品をメンバー内で案を出しながら取捨選択し、注文リストを作成しました。12月20日は、修理し補強した機体の飛行試験を行いました。離陸が困難で、なんとか飛行することは可能でしたが、ピッチ・ロール方向の安定性が悪く、安定した飛行を続けることが難しく、飛行時間は短くなってしまいました。原因として考えられるのは、プロペラへの空気の吸い込むを強くするために翼に穴を開けたため、翼面積が小さくなり、飛行するのに十分な揚力が得られていないことが挙げられました。来月はメンバーの都合が合う日が少なく、活動頻度が少なくなる可能性があります。

～家庭医療べんきょう会～

22日に、夏に行った地域医療セミナーの対象地のその後を伺う『周南「そのあとで」』という企画を行いました。須金地区および須々万地区で住民、特に1ターンでそれぞれの地区にやってきた人々に話を聞くことで、地区の特色や現在力を入れていること、課題点などを知ることができました。『周南「そのあとで」』に参加することで、今まで見てきた地域との大きな違いを知ることができました。それは、須金や須々万は「いかに定住者を増やすか」に重きを置いて地域おこしを行っていたということです。観光人口が増えなくても、定住者が増えなくては結局地域は衰退してしまう、そのことを学び、ともにどうすれば定住者を増やすことができるか考える貴重な時間となりました。今後も両地区に関わって色々な地域活性化のお手伝いをしたいと考えています。私達の活動である健康教室の話をしたところ、是非来て欲しいという話を頂いたので、おもしろプロジェクトとしての活動が終了する前に、今回の地区でも健康教室ができる体制が整えば、と思います。



地域活性化バト
周南「そのあとで」

体験で学ぶ防災・減災

9月にプロジェクトメンバーで行った防災・減災についての研修合宿を個人だけの学びにとどめず、周知するために防災についての講習会を開催することになりました。兵庫県南部地震発生日で、防災とボランティアの日でもある1月17日に開催します。参加者に少しでも防災・減災に興味を持ってもらい、考えてもらえるような講習会にしたいと思っています。そのために、今月は発表内容決めと資料作成など当日に向けた準備を行いました。参加者を募るための宣伝ポップの作成や発表内容をまとめたパワーポイントの作成を役割を決めて行いました。発表内容は、合宿で学んだこと（主に火山災害）と防災減災について（地震、水害など）を中心にすることにしました。自分たちが当たり前だと思っていることも、ほかの人たちからしたらそうでもないことが多々あると思います。1月17日が何の日か、から実際に自然災害が起きた時の対処法・日々の備えなど基本的なことから紹介しようと考えました。来月は、当日に向けて直前までメンバーで協力して準備をしていく予定です。



防災講習会の
開催準備

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 2月



1月分の活動報告

山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

1月は実験が主な活動となりました。今年度最後の実験です。前回の実験では、アルゴンガスのみを実験用ニキシー管に封入し、発光を観察する事ができました。今回はアルゴンガスの他にヘリウムガスも封入して、実験を行いました。ニキシー管は電極の周辺のガスが発光するのですが、複数の種類のガスを封入するとガスが他のガスの発光を助け、より高い圧力、つまり管内部の空気の量が以前より多くても発光を得る事ができます。圧力が上昇すると、より簡単に必要な圧力を用意することができる、発光の輪郭がはっきりする、などのメリットがあります。ニキシー管は数字や文字を表示するものですから、輪郭がはっきりする事はとても重要です。今回の実験では、ガスの発光に必要な圧力を前回の10倍に引き上げる事ができました。ニキシー管としての機能を満足に果たすためには、今回の2~3倍（前回の20~30倍）の気圧でも発光するようにする必要があります。その為には最適なガスの種類・割合・量を発見する必要があり、これが今後の課題です。



発光する
実験用ニキシー管
内部

体験で学ぶ防災・減災



防災についての
交流会

1月16日に災害時の情報共有などを目的とする防災コミュニティ設立に向けた電話ミーティングに参加しました。西は山口県、東は京都府までの防災団体が問題点や目的の明確化などの確認・意見出しを行いました。短い時間でしたが、ほかの防災系の団体と交流できたのは貴重な機会になりました。1月17日は兵庫県南部地震発生日で、防災とボランティアの日でもありました。私たちは、この日に学内で防災についての交流会を開催しました。夏に行った防災・減災についての研修で学んだことを発表したり、防災減災について説明したりしました。また、クイズも何問か用意して楽しく学ぶ機会になったと思います。防災に詳しくないが宣伝ポップを見てきてくれた人がいて、そのような人にも防災・減災に興味を持ってもらえたので良かったです。しかし、準備期間が少なく宣伝不足だったのでこの点は今後の改善点にしていきたいです。私たちが約1年を通して活動して得た知識や考えを少しでも外部に発信することができたので、いい交流会になったと思います。

Share KASA

今月からは新たに人文学部棟と農学部棟の2か所でShare KASAがスタートし、計6か所でのShare KASAの利用が可能となりました。すでに1か月行っている取り組みであったため、交渉・設置ともスムーズにいきました。今月は1月上旬は冬休みであり、雨があまり降らなかったことからあまり利用者は多くなかったです。また、今月からは傘にナンバリングをして傘の移動の推移を追うという試みをしました。なかなかうまくいきませんでした。傘のシェアリングに関してはもっと効率的な方法をこれからも模索していく必要があると考えています。次に、今月の10日に同じおもプロ採用企画である「もりフォメ」からShare KASAについてインタビューを受けました。もりフォメで取り上げられることにより、Share KASA が多くの人に知ってもらえるいい機会になったと思います。また、このインタビューを通して、Share KASAの意義の再確認やこれからの展望についてメンバー以外の人とディスカッションでき、よかったです。



「もりフォメ」の
インタビューを
うける

YUシェアハウス経由 山大スクールバス

今月は実際にFace bookの告知を開始し、運営も開始してみる月でした。アンケート結果からもGIVE AND TAKEのようなシステム(不要物品の移譲)を欲しいと思っている学生は多いことがわかり、また宣伝を開始してから予想以上の人が登録してくれたことは驚きでした。しかし実際に使ってみる人は現段階ではないという状況です。そのためこちらから自由に使っていていいんだよ、という雰囲気を作りたい。また実施期間としてもメンバー内でいろいろ投稿してみようという流れを作りたい。また実施期間としてもテスト期間と被ってしまったことあるので、最初は1月内だけの実施としていましたが宣伝方法を増やしたり、より利用してもらえんにはということを考えて2月ももう少し実施してみようと考えています。アンケートに関してはいろいろ分析を開始しまとめて入っていこうと考えています。



GIVE AND TAKE
システムの開始

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



第23回 山口大学おもしろプロジェクト 3月



2月分の活動報告

木製グライダー製作

今月の活動では、分解したドローンの部品を使ってヘリコプター作製に向かって頑張りました。とにかく軽さを求めにいったのですが、発泡スチロールでもまだ重たいということが分かりました。きちんと計算したりしていないのでいかに自分達のヘリコプターが無謀だったかということもわかりませんでした。しかし、とにかく飛ばせるようになるということはとても難しいのだなということが身をもって分かった限りです。しかし、ドローンの部品を使うことによって、自然とコントローラーとプロペラが連動していて、感動しました。なぜ飛ばないかについては、物理の先生や専門ではないけれど詳しい人に聞いてみたところプロペラの角度や、羽の大きさにみあったヘリコプター自体の形、風の通り方など様々な視点から要因となるヒントを出してもらいました。とても参考になりました。また、インスタグラムでの投稿は飛んでいなくても、プロペラが回っただけでコメントが来たり、反響が良かったです。この調子で今年度の締めとして、本来の目的である木製グライダーにプロペラを取り付け手動制御ができるように頑張ります。面白プロジェクトを通して、充実した一年間を過ごすことができたと思います。ありがとうございました。



ヘリコプター製作

山大にゃんこ大作戦～略してYND～



定期ミーティング

1月は定期ミーティングの中で、新しくなった各班から、先月からの進展について報告がありました。具体的には、山大にゃんこ大作戦がサークルとして認められたことなどです。また、サークルとして今年の新入生歓迎会フェスティバルに参加することが決定したので、その具体的な話し合いを行いました。また、人手不足を解消するための案についてみんなで話し合いました。さらに、春休み中のネコ調査と次回のミーティングの日程を決定しました。

来たれ！農場めぐりあい

2月8日、花の海への見学をしました。まず社員の方に企業についてのお話を聞かせていただき、その後各自自由に質問ができる時間をいただきました。個人的に役に立つと思った質問とその答えを以下に書きます。「Q1. 就職活動に向けて学生のうちにしておくべきこと：A1. 色々な立場の人の話をたくさん聞き、幅の広い価値観を持つこと。」「Q2. 仕事のやりがいを感じるか：A2. お客さんに喜んでもらえたとき」「Q3. 農業系の企業はブラックといううわさは本当なのか：A3. 過労死するほどのブラックな企業はないと思われる。ちなみに花の海はホワイト企業で繁忙期以外は定時で帰ることができ、残業手当もきちんと貰える。」他ではなかなか聞けないような質問に答えていただきとても参考になりました。その後、職員の方に畑などの施設の中を案内していただきました。手作業で行う作業はあまりなく、例えば種まきや苗の収穫など機械で行う作業が多くとても効率的だな…と感動しました。1年のうちに貴重な体験ができてよかったです。



農業系の企業を見学



おもしろプロジェクト報告会 開催のお知らせ

下記の日程で「第23回おもしろプロジェクト'18報告会」を開催いたします。2018年度に活動を行った13つのプロジェクトがその成果を発表します。また報告会の前後2週間には「おもプロ学長賞」の投票も開催され、自主活動ルーム前や工学部、医学部の学食前に各プロジェクトの活動概要ポスターも掲示されます。おもプロに興味のある方、2019年度に応募してみようかと考えている方など、多数の来場をお待ちしています。

場所：共通教育棟 15番教室

日時：2019年4月7日13時～（新歓フェス同日）

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています